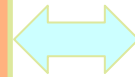


- インドの自然放射線量が高い（累積線量500ミリシーベルト強※1）地域で発がんリスクの増加が見られなかった報告

(Nair et al. 2009)

白血病による死亡リスク

被ばくした
集団



被ばくして
いない集団

統計学的に比較

200ミリシーベルト※1以上でリスクが上昇
200ミリシーベルト※1未満では差はなかった

※1 被ばくした放射線がβ線又はγ線だったと仮定して、放射線荷重係数1を乗じた
(Shimizu et al. 1988 広島・長崎の被ばく者におけるデータ)

がん※2による死亡リスク

被ばく線量
0～125ミリシーベルト
の集団

被ばく線量
0～100ミリシーベルト
の集団

被ばく線量が増えると
リスクが高くなることが
統計学的に

確かめられた

確かめられず

※2 対象は、固形がん全体
(Preston et al. 2003 広島・長崎の被ばく者におけるデータ)